

共に生きる

東日本大震災現地支援ニュース No.11

2012年9月26日 大会執事活動委員会

* 北中山伝道所会堂修復工事完了！

北中山伝道所 坂本紀夫

6月末より着工された土壌改良、及び会堂修復工事が9月22日に完了しました。国内外の主にある諸教会、兄姉方の尊い献金とお祈りを頂き、この大工事を成し遂げることが出来たことを深く感謝しております。

土壌改良、会堂修復工事、それぞれに携って下さった業者も各地の仕事との掛け持ちで忙しい中、休日を返上しながら誠心誠意丁寧な仕事をして下さいました。

6月30日～7月28日、ダブルロック工法による地盤補強工事が施されその後、8月17日～9月22日に建物耐震改修工事が行われました。東北には珍しい猛暑の中、連日地下に潜る作業が続きましたが、幸い教会の地下は十分なスペースがあった為、予想以上に早く仕事が進んだようです。

会堂全体が水平になったことで傾いてしまった玄関の扉や会堂内の扉、サッシの開閉がスムーズになり、崩れた階段には手すりが付けられました。

また会堂内の亀裂や窪みも補修され、全面塗装によって一層明るくなりました。このように神様が美しく装って下さった会堂で、9月23日（日）には修復感謝礼拝（伝道礼拝：三川栄二牧師）、及び午後の感謝会を行うことが出来ました。

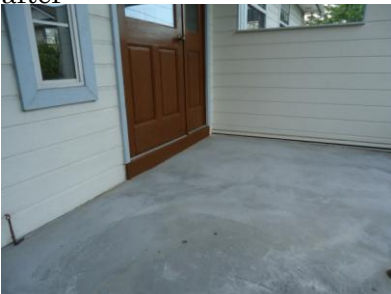
大震災から一年半、その間、人間的には思い通りに事が運ばないことに焦ることもしばしばでしたが、その中を神の御心は確実に成し遂げられてゆくということを、改めて知らされたように思います。私たちの計画ではなく神の御心が成る事を祈りつつ、会員一同、福音の前進のために心を合わせてまいります。

限られた紙面に十分に記す事が出来ませんが、教会の損傷状況をご心配下さり何度も足を運んで下さった先生方、兄姉の方々、励ましの御便りや祈りの寄せ書きを下さった方々、今も祈り続けて下さる多くの方々を忘れてはおりません。心からの感謝を申し上げます。

before



after



before



after



2012年9月23日(日)修復感謝礼拝後の感謝会

* のぞみセンターの活動についての報告

仙台カナン教会 大野雅良

「わが魂よ、主をほめよ、そのすべての恵みを心にとめよ」

荒れ果てた農地に稲穂が黄金色に輝いています。整地の済んだ畑にはビニール・ハウスが作られ、イチゴ、パプリカ等の野菜の栽培を行うべく準備が進められています。一方では田んぼの土壌を入れ替えての除塩作業が行われており、まだまだ復興作業の只中にあります。

9月の「のぞみセンター」の活動は、東関東中会・松戸小金原教会の坂野姉によるセンター、及び坂中跡仮設での「切り絵教室」が開催され、子供向けの企画をしたセンターでは2日間で延べ13名。大人を対象とした仮設では9名の方が参加されました。また、東部中会・東京恩寵教会の福井姉、鬼沢姉によりセンター、及び東田（トウデン）仮設での「石鹸デコパージュ」教室が開催されました。特に東田仮設は山元町最大規模（270戸）の仮設で、集会所も2ヶ所に分かれていて、今回はその1ヶ所で初めて開催することが出来ました。センターでは30名の参加者が、東田仮設では15名の方が参加されました。今月最後のイベントは東部中会・江古田教会の佐野姉、伊豆山姉、三輪姉によるセンターでの「手芸とブローチ作り教室」が開かれました。秋分の日でもありセンターに来られる参加者は少ないと思っていましたが15名の方が参加して下さいました。いずれの教室でもご奉仕頂いたすべての姉妹が、神様から与えられた素晴らしい賜物を用いて多くの被災者の方々に楽しい時間を与えて下さいました。心から感謝申し上げます。

前回の報告でもアピールさせて頂きましたが、「のぞみセンター」はまだまだ皆様の力を必要としています。この度、ウェブサイトを公開しました。アドレスは「nozomicenter.com」です。こ

のサイトには「のぞみセンター」に関する全ての情報が掲載されていますので是非ご覧ください。引き続きお祈りとご支援をお願い申し上げます。

*前回の報告で東関東中会からご奉仕の人数を8名とすべきところを6名と掲載しました。またケン・リー先生の名前が抜けておりました。お詫びして訂正させていただきます。



ホームページアドレス nozomicenter.com

*東仙台教会ボランティアセンター活動報告

東仙台教会 立石 彰



いつも私たちの働きを覚え、お祈りして下さっていることを心から感謝いたします。今回は、サクラハウスで新しく始めました「トビーとアナリーのサクラカフェ」について報告いたします。

9月中頃からトビー・デベット先生と奥様のアナリーさんの協力の下、週に2回10:00~14:00に、サクラハウスでカフェを始めました。このカフェを始めるにあたり、新東名・野蒜地区の家を1件1件回ってチラシを配布いたしました。このチラシ配布で、新東名・野蒜地区には現在

約350件の家が存在することがわかりました。そして何よりも嬉しかったことは、「東仙台教会です」と言って各家を訪問する中で、多くの方々が私たちを温かく迎えてくださり、感謝の言葉をかけてくださったことです。これまで積み重ねてきたことが地域の方々に喜んでいただいている様子を実感することができ、とても嬉しく、そして励まされました。

カフェではドリンク（コーヒー、紅茶、ルイボスティ等）とケーキのセットを100円で提供しています。カーリーナさん（デベット先生のお嬢様、ステファン先生の奥様）がとても美味しいケーキを焼いてくださいます。またコーヒーは各自でカップと豆を選び、一人一人コーヒーミルで豆を挽いてもらいます。カフェにはデベット先生とアナリーさんがいつも居て、訪れた方々を温かく迎えてくださいます。お二人との会話も楽しみにして、1日約20名ほどの方が訪れてくださっています。残念ながらデベット先生ご夫妻は11月中頃には帰国されますので、3ヶ月限定のカフェですが、良い出会いと交わりの場となりますように、訪れてくださった方々が少しでもホッとできるような時間になるようにお祈りください。





【10月の予定】

- 3日(水)：仮設住宅の方々との温泉ツアー（秋保温泉）
 - 5日(金)：新東名・野蒜地区の方々との温泉ツアー（鳴子温泉）
 - 8日(月)：サクラハウスで、地域の方々との昼食会（ラーメン&手作り餃子）
 - 9日(火)：野蒜小学校の振替休日で、子どもたちと一緒に遊園地へ
 - 10日(水)：仮設住宅(4号棟)の方々との昼食会
 - 23日(火)：にじいろの保護者の方々とのソフトボール大会
 - 24日(水)：おはなカフェ・コンサート
 - 30日(火)～31日(水)：仮設住宅の方々と一泊温泉ツアー(鳴子温泉)
- 各行事の祝福とスタッフの心と健康が支えられますように、どうぞお祈りください。

<今月の御言葉>

被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に産みの苦しみを味わっていることを、わたしたちは知っています。被造物だけでなく、“霊”の初穂をいただいているわたしたちも、神の子とされること、つまり、体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望んでいます。

(ローマの信徒への手紙8：22～23)

震災から一年以上が過ぎ、社会は大きく復興に向けて走り出しているかのようです。あちらこちらの街にも、華やかさが戻ってきたように見えなくもありません。一方で、いつ故郷に帰れるのか目途の立たない方たちの現実は何も変わらず耐え難さは募ります。華やかさと暗さ、おびただしい活力の陰に滅びそうな命、私たちの生きるこの世界では、いつでもこのせめぎ合いがあります。聖書は言います。「私たちは知っています」。皆が苦しんでいることを。生きとし生けるものがうめいていることを。しかし、聖書が知っているのはそれだけではありません。聖書が知っていること、それは「うめきながら待ち望むこと」です。今うめく人に、その先を待ち望む希望があります。

(大会執事活動委員会 杉山昌樹)